

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### ▼大統領選挙に向けた動き

- ・26日、ティモシェンコ首相は、チギプコ元中銀総裁に正式に首相ポストを提案したと発言。
- ・26日、チギプコ元中銀総裁は、ティモシェンコ「大統領」又はヤヌコーヴィチ「大統領」が、最高会議で過半数を得て首相ポストを提示した場合には、断るつもりはないと発言。
- ・26日、ソボル党は、二次投票におけるティモシェンコ首相支持を表明。
- ・27日、チギプコ元中銀総裁は、二次投票でいずれかの候補を支持するつもりはないと発言。またヤヌコーヴィチ地域党党首との交渉は終結しておらず、首相就任の提案は受けていないと発言。
- ・29日、ティモシェンコ首相はチギプコ元中銀総裁及びヤツェニウク前最高会議議長に再度協力を提案。

#### ▼抗議行動等

- ・25日、投票用紙を印刷する「ウクライナ」印刷所で騒動が発生。地域党は、BYTが150万票を追加的に印刷させるため、警察による破壊活動を計画したと非難。ルツェンコ内務相は、旅券等を印刷するビジネス上の抗争であるとしてグリツァク地域党議員を非難。
- ・26日、「国民自衛」は、6名の地域党議員が「国民自衛」ジトーミル支部を襲撃、パンフレットを奪い文書を処分したと発表。
- ・27日、約350名の地域党支持者が閣僚会議前で抗議行動を実施。
- ・27日、BYTは、地域党がキエフ行政控訴裁判所の建物を襲撃、デニソヴァ裁判所所長のPC上のデータを破壊したと発表。裁判所側は、地域党議員が裁判所内に留まっているとコメント。
- ・27日、キエフ行政控訴裁判所は、ティモシェンコ首相が閣僚会議の報道局を自らの大統領選挙運動に利用していると認定。
- ・29日、ティモシェンコ首相はキエフ行政控訴裁判所の決定に関し、不服を申し立て。

#### ▼ルツェンコ内務相の罷免

- ・28日、最高会議臨時本会議が開催。地域党、共産党、ブロック「リトヴィン」及びNUNSの一部の賛成によりルツェンコ内務相を罷免。
- ・28日、閣僚会議は臨時会合を招集、ルツェンコ前内務相を第一内務次官に任命、内務相代行に。
- ・28日、BYTはブロック「リトヴィン」がヤヌコーヴィチ地域党党首側に立ったと非難。

- ・29日、キエフ地区行政裁判所は地域党議員の訴えを受け、司法手続き終了まで上記閣僚会議令を停止する旨決定。

#### ▼その他

- ・28日、最高会議臨時本会議において、地域党提出の大統領選挙法改正案が第一読会を通過。

### 2. 経済

#### ▼財政・金融

- ・23日、大統領官房は2009年度の国家一般会計の歳入は歳入計画の93.3%の1722億650万グリブナと発表。
- ・27日、ウマンスキー財務相代行はIMFの専門家は大統領選挙二次投票後にウクライナに招待されるべきと発言。
- ・28日、ウマンスキー財務相代行は、2009年国家予算赤字は198億6560万グリブナと発表。

#### ▼EURO2012

- ・24日、設計検証のため建設が停止されていたリヴィウのスタジアムの建設作業が再開。

#### ▼農業

- ・27日、農業政策省は2009／2010年の農業年度(2009年7月から2010年6月)において、これまでに1496万4400トンの穀物を輸出と発表。2008年同時期の穀物輸出量は1381万6700トン。
- ・27日、ダニリシン経済相は、遺伝子非組み換え商品に「非組み換え」表示を義務付けるのは欧州標準にそぐわないとし、同決定を停止する法案を最高会議に提出。なお、12月29日、遺伝子組み換え食品に表示を義務づける法案にユーシチェンコ大統領が署名。

#### ▼エネルギー

- ・25日、ブローダン燃料・エネルギー相は、核燃料製造施設建設計画への入札に参加するよう、露TVEL社と米ウェスティング・ハウス社に呼びかけたと発言。

#### ▼ガス問題

- ・26日、クルグリク中央銀行対外経済関係局長は、ナフトガス社が1月分対露ガス料金約5億ドルの資金調達のため複数の銀行と交渉に入ったと発言。
- ・27日、ウマンスキー財務相代行は、ナフトガス社が自己資金で支払いの大部分を賄い、2月5日に完了する予定と発言。
- ・26日に開催された露ガスプロム社取締役会の決定によれば、同社は対欧州天然ガス供給量を2010年に1608億立方メートル、2011年に1635億立方メートル、2012年には1709億立方メートルと拡大していく予定。
- ・27日、ナフトガス社は温室効果ガス削減に向け1億7百万ユーロを設備投資に回す予定、計画書を燃料エネルギー

省に提出。

・26日、ガス・ウクライナ社の発表によれば、公共暖房供給企業は、暖房の提供を開始した昨年10月1日から今年1月26日までの期間で28億8千万グリブナにのぼる天然ガス料金の赤字。

### ▼その他

・28日、S&Pはリヴィウ市債の債務不履行を受けて、同市の格付けをCCC+からSD（選択的債務不履行）へ格下げ。なお、リヴィウ市の120万グリブナの市債が中央政府からの支払い手続きの関係で数日間債務不履行となっていたが、すでに償還済み。

## 3. 外交

### ▼25日、ズラボフ露大使の着任

・ズラボフ駐ウクライナ大使兼貿易経済協力露大統領特使が着任し、ポロシェンコ外相に信任状の写しを捧呈。着任後初の記者会見ではウクライナ語を使用。

・ウクライナでの任務が実り多いものとなることを希望する、ウクライナ露関係は大きな可能性を秘めており、大使として最大限努力する旨発言。

・ポロシェンコ外相は、信任状の写しはユーシチェンコ大統領宛になっており、外交儀礼上の要件を満たしている、新大使の着任は二国間関係に良い影響を与え、大統領選挙後には首脳レベルの交流が開始されることだろうと発言。

### ▼26日、ウクライナ大統領選挙に関する米大使及びOSCE代表の評価

・テフト米大使はポロシェンコ外相に対し、第1回選挙は自由且つ公平に行われ、ウクライナの民主化進展を証明するものとなった、決戦投票も国際基準に則って行われることを期待すると発言。

・タリヤヴィニOSCE/ODIHR選挙監視団団長は、OSCE、欧州評議会、欧州議会、NATO議員総会による高い評価を再確認し、国際監視団受け入れにおけるウクライナ外務省の尽力（査証無料化の便宜）を肯定的に評価。

### ▼28日、ポロシェンコ外相の英国訪問

・アフガニスタンに関するロンドン国際会議に出席。

・米、露、英、仏、西、中、スウェーデン、ポルトガル、オーストラリア、サウジアラビア、ポルトガル、クロアチア、カザフスタン、マケドニア、コロンビア、ルクセンブルグ、フィンランド、インドネシア、モンテネグロの外相、NATO及びEUの代表

とバイ会談。

・ポーランド、トルコ、エストニア、アゼルバイジャン、アルメニア、グルジア、スロヴェニア、パキスタン、アルバニア、ギリシアの外相、日本の福山外務副大臣と立ち話。

・ラヴロフ露外相とは、2月5～7日に行われる「ミュンヘン安全保障会議」でも対話を継続することで合意。その他外相とは2010年の二国間関係、査証自由化の展望につき協議。

・ラスムセンNATO事務総長は、ユーシチェンコ大統領がアフガニスタン平和維持部隊の増強を決定したことを歓迎。ポロシェンコ外相は、ラスムセン事務総長に対し2010年年度国家計画が閣僚会議により採択されたことを通知。

・アシュトンEU外務・安全保障政策上級代表は、ウクライナ大統領選挙が民主的且つ公平に行われることはEUへの近道であると述べ、優先課題としてウクライナEU連合協定、FTA交渉を指摘。

## 4. 防衛

### ▼黒海艦隊駐留問題

・28日、ヤヌコーヴィチ地域党党首は、露黒海艦隊駐留問題はロシア・ウクライナ双方に有益な方法で解決されるであろうと発言するとともに、我々はこの問題に細心の注意を払っていると発言。

### ▼ウクライナ・NATO軍事委員会（於：ブリュッセル）

・27日、スヴィダ参謀総長は、ウクライナ軍は2010年後半及び2011年前半においてNATO即応部隊の第15次及び第16次ローテーションに参加するであろうと発言。

### ▼海賊対策

・27日、ポロシェンコ外相は、イギリス訪問時EUのアトランタ対海賊作戦指導部と会談、アデン湾における船舶護衛へのウクライナ特殊部隊の参加を提案。アトランタ作戦指導部側は、ウクライナの決定を歓迎するとともに、ウクライナのスペシャリスト達との有益な協力に期待を表明。

## 5. 二国間関係

▼28日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ポルタヴァ州立エイズセンター集中治療室における医療機材改善計画」G/C署名式

・本件では、「ポルタヴァ州立エイズセンター」に対して医療機材（生体情報モニター、人工呼吸器ほか）総額44,484米ドルを供与。本件はウクライナにおける草の根スキーム49件目の案件。

## B. その他の動き

### 1/23（土）

・2009年におけるボリスポリ空港の旅客数は前年比13%減の579万4千人と運輸通信相が発表。なお、郵便、貨物については前年比24.66%減の27,200トン。

### 1/25（月）

・30日までの間、イリイン海軍少将率いるウクライナ海軍代表団が特殊作戦部隊の訓練等について学ぶため、カリフォルニア州にある米軍基地を訪問。

（了）